

# すこやか

第25号

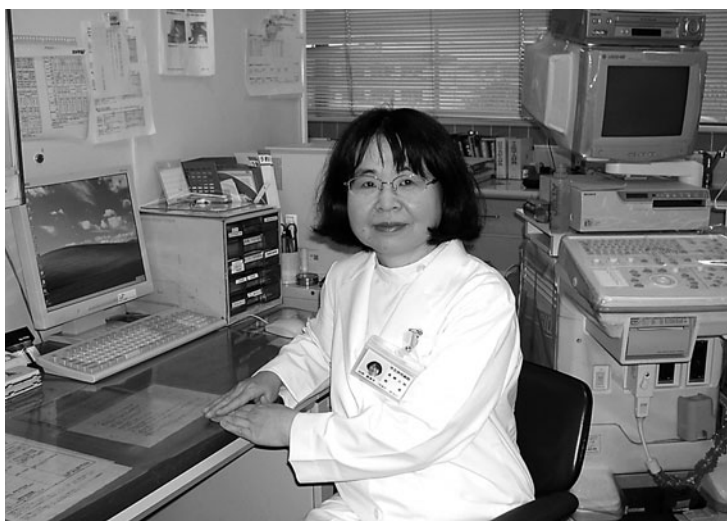
2006/6/15

編集：市立伊丹病院患者サービス向上委員会

発行：市立伊丹病院 TEL 072-777-3773

<http://www.hosp.itami.hyogo.jp/>

## 更年期へようこそ



二十一世紀を迎え、超高齢化へまっしぐらの日々です。我が国の平均寿命は1950年前後には50代の前半でした。しかし、約50年を経た現代の女性は85歳を越え、約30年の年月が更年期以降に控えています。しかし女性にとっての更年期は人生の終わりでは決してありません。むしろ逆なのです。更年期は、妊娠出産のリスクか

ら解放され、最後の子供が成人するまで女性の健康を確実にするための進化ともいわれています。しかも子育てが終わってれば、もう一度勉強すること、新たな仕事を始める事、夢に挑戦する事も可能なのです。女性が更年期以降の長い人生を充実して過ごすためには、閉経にともなう心身のトラブルを最小限に抑さえ、変化していく体をコントロールしていくことが大切です。

一般に40歳代に入ると卵巣の機能は低下し始め、50歳前後で閉経します。更年期はこのような変化が現れる45歳頃から閉経を経て安定する55歳頃までの期間を言います。女性ホルモンが少なくなると骨粗鬆症や、血管運動神経障害、精神神経障害、膣尿道粘膜の萎縮、心血管系疾患のリスク増大、月経異常などの症状がでてきます。また更年期から増える病気に悪性腫瘍もありますのでこの時期の定期検査は大変重要です。治療にはホルモンの補充療法、漢方療法、自律神経調整剤などの薬物療法の他、カウンセリングやヨガ、アロマテラピー、音楽療法なども症状軽減に有効です。予防には栄養、休養、運動が大切といわれています。しかし一番のおすすめは時間が無くてできなかったことや興味の持てる何かをすることだと思えます。それを探するための時間と、それを実行するための時間が、あなたのそばにあるのですから。

# お薬の安全・安心をめざして

今回の職場紹介は薬剤科です。病院薬剤師の業務についてお話します。薬剤科では患者さまに安心してお薬を使用いただくために以下のような薬剤業務に取り組んでおります。

## 1) 調剤

当院ではコンピュータを利用したオーダリングシステムを採用しており、処方せんを受け取ってから調剤を開始するのではなく、処方せんの内容を電子データとして薬剤科へ送信してもらい、素早く調剤が出来るようにしています。なお、送信された処方データの内容について、色々なチェックを行うとともに、各種の調剤機器に接続し、有効に利用しています。

## 2) 薬剤管理指導

入院患者さまに対して、ご自分が使用されているお薬の働き、お薬を使用する意味や目的、服用方法などを説明して、薬を忘れずに正しく服用して頂くことを目的としています。さらに、薬の副作用と思われる症状が出たときなどに適切に対処できるようにお薬についての注意事項を説明しています。また、お薬の飲み合わせ等もチェックして、患者さまの質問にもお答えしています。

## 3) 外来服薬指導

お薬相談室において薬の服用上の注意事項や使用方法について、気管支喘息治療薬、骨粗しょう症治療薬等を中心に説明しています。

## 4) 院内製剤の調製

市販されていない治療に必要な薬を調製しています。また、特定の患者さまのみに使用する薬も調製することがあります。

## 5) 医薬品情報の提供

院内の職員（医師、看護師等）に向けて薬の情報をタイムリーに伝達し、質問に答えています。

## 6) 薬物血中濃度の測定および解析

血液中の薬物の血中濃度を測定して、薬の量が有効で安全であるかどうかを確認しながら、患者さまごとに適切な薬の量を設定しています。

## 7) 注射薬の無菌的混合調製

入院患者さまの高カロリー輸液および外来化学療法における抗がん剤の混合調製を行っています。

このような様々な日々の業務に職員一同精一杯がんばっています。

薬 剤 科



## おいしく安全で衛生的な食事の提供を (厨房改修工事完了のお知らせ)

厨房改修工事中、入院患者のみなさまにはたいへんご迷惑をおかけいたしまして申し訳ありませんでした。今回の工事は伊丹病院がこの地に移転後、初めての大規模改修工事でした。

工事の概要については次のとおりです。

- 衛生面の強化
  - ・新衛生システム導入のための厨房内衛生区分の明確化  
(下処理室→加熱室→盛付室→配膳車プール→下膳室各部屋区分の明確化)
  - ・熱源機器増加に伴う厨房内温度上昇への対応
  - ・より安全に生野菜等の提供可能な電解水生成装置の導入
  - ・厨房内床全面のドライ化強化
- 老朽化の改善
  - ・震災後から少しずつひずみが出ていた壁・床・天井等基本部分の改修
  - ・省エネタイプの小型冷蔵庫の導入と大型冷凍冷蔵庫の更新
- 厨房の拡張
  - ・昨年より入院食のおいしさ実現のため導入されたコンベクションオープンや温冷配膳車導入による厨房の部分拡張

などの改修・改善工事を行いました。今後とも入院患者さまに喜んでいただけるよう、より一層おいしく安全で衛生的な食事の提供を目指してまいります。

ご協力ありがとうございました。

栄養管理担当 副主幹 巽 達也



電解水生成装置



温冷配膳車



## 院外処方せん発行のご案内

当院では平成18年4月3日から外来患者様に「院外処方せん」の発行（医薬分業）を始めしております。

診療科で「院外処方せん」をお渡ししますので、会計を終了された後に、患者様が希望される院外の保険薬局にお持ちになり、そこでお薬を受け取っていただくことになります。

「院外処方せん」はどの保険薬局でも受け付けてもらえますが、あらかじめ一つの保険薬局を「かかりつけ薬局」として決めておかれますと、どの病院や診療所にかかれても、お薬に関する情報がすべて集められますので安心です。また、「院外処方せん相談コーナー」では保険薬局の紹介や保険薬局での待ち時間を短縮するため院外処方せんを事前に保険薬局にFAXで知らせる無料FAX送信サービスも行っております。

なお、当分の間は、院内処方のご希望にも応じております。



### 産婦人科診療制限のお知らせ

5月末の産婦人科医師の退職に伴い6月から下記の診療制限を行っております。

- ①分娩数の制限：月間20件（11月予定日までの分娩予約は既に締め切りました。）
- ②外来診療の制限：火曜日の産科、金曜日の婦人科が休診（既に予約のある方は、そのままお越しください。）

詳しくは当院HPに掲載中です。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解くださいますようお願いいたします。

### 医師の人事異動がありました。

採用 (18年4月1日)		退職 (18年3月31日)	
外科 医 長	秋 山 洋 介	内 科 副 医 長	芦 田 右 子
泌尿器科 医 長	木 村 伸 悟	内 科 副 医 長	間木野 泰 祥
内 科 医 員	堀 木 優 志	内 科 医 員	増 田 江 利 子
内 科 医 員	三 好 里 佳	歯科口腔外科 医 員	今 井 智 章
内 科 医 員	茶 谷 徳 啓	臨 床 研 修 医	大 森 信 介
歯科口腔外科 医 員	濱 田 正 和	臨 床 研 修 医	細 田 洋 平
小児科後期 研 修 医	中 野 由 佳 子	臨 床 研 修 医	横 山 光 樹
外科後期 研 修 医	川 崎 敬 次 郎	(18年4月30日)	
臨 床 研 修 医	渡 邊 崇 士	皮 膚 科 医 員	宮 本 園 子
臨 床 研 修 医	南 坂 朋 子	(18年5月31日)	
臨 床 研 修 医	山 室 和 彦	外 科 部 長	国 府 育 央
臨 床 研 修 医	鏡 暁 子	内 科 医 員	田 幡 江 利 子
臨 床 研 修 医	岩 崎 竜 一 朗	内 科 医 員	佐 藤 芙 美
臨 床 研 修 医	中 野 さ や か	産 婦 人 科 研 修 医	山 本 真 規 子
(18年5月1日)			
皮 膚 科 医 員	河 野 容 子		
(18年6月1日)			
内 科 医 員	中 嶋 優 子		